

2019年度「マイ防災プラン作成研修」を実施しました！

日時：2019年8月22日（木）10:00～12:00

場所：寝屋川市総合センター

参加者：福祉委員15名、視覚障がいを持つ方4名（計19名）

ファシリテーター：摂南大学大学院生1名、摂南大学学部生11名、教員1名

今回の見どころ

摂南大学理工学部建築防災研究室では、2018年度から「マイ防災プラン作成研修」を実施しています。この研修は、「障がいをもつ方々には各々に見合った災害対策が必要ではないか」との発想から、寝屋川市社会福祉協議会と寝屋川市の障がい者団体と連携して実施する研修であり、地域支援者として地域の民生委員や福祉委員の方にもご参加頂いています。この研修の目的は、障がい者と地域支援者が一堂に会し各々の「マイ防災プラン」を作成することで、お互いの防災対策を知ること、としています。2019年8月は福祉委員と視覚障がい者の皆さまに参加して頂きました。避難所内のトイレ問題と避難スペース問題に着目して、「マイ防災プラン2019」を作成します。

プログラム実施風景



「マイ防災プランとは」について説明しました。視覚障がい者の方にも伝わるように、ゆっくり話しました。



寸劇で避難者同士の会話を再現しています。演技が面白く、参加者の方も笑っていました。



携帯トイレや簡易トイレなど、種類の違いがわからない」との意見がありました。区別が難しかったようです。



避難スペースに関する自由記述欄では「暖も取れることができるので段ボールはほしい」との意見もありました。



「マイ防災プラン2019」を作成し、各々にとって必要なものや、備えの実現度が異なる事が分かりました。



「私は災害時用の袋に必要なものを準備してあるから大丈夫」との意見もある一方で、「準備ができていないからとても不安」との意見もあり、共感できました。

プログラムの実施結果

今回、私は初めてファシリテーターとして研修に参加しました。私の役割は、担当する班の参加者への内容説明と班の進行でした。研修内容を適切に説明できるか、また、私の進行で取り組んでもらえるかなど不安な点も多い中、研修に臨みました。しかし、研修が始まると、人見知りな私に、参加者の方から実際の避難所の様子などを話してくださり、とても話しやすい雰囲気を作ってもらえました。そのおかげで、緊張しながらも私なりに説明することができ、演習にも積極的に取り組んでもらえたと思います。また、同じ担当班になった先輩に都度、フォローを入れていただき、自分の役割を果たすことができました。今回のことから、私が学んだことは、参加者の方に「自分の担当があの人で良かった」と思ってもらえるような研修にすること、です。よって、事前練習からあらかじめ話題を準備するなど、自分から話しやすい雰囲気を作る努力をしたいと思います。

今回のプログラムに参加して頂いた多くの皆さま、ありがとうございました。